

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0139

令和5年度行政事業レビューシート

( 内閣府 )

<b>事業名</b>	実用準天頂衛星システム事業の推進			<b>担当部局庁</b>	宇宙開発戦略推進事務局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成24年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和14年度	<b>担当課室</b>	準天頂衛星システム戦略室	参事官 三上 建治	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	宇宙基本法(平成20年5月28日法律第43号) 地理空間情報活用推進基本法(平成19年5月30日法律第63号)(第三条、第二十条、第二十一条)			<b>関係する計画、通知等</b>	宇宙基本計画(令和5年6月13日 閣議決定) 地理空間情報活用推進基本計画(令和4年3月18日 閣議決定)		
<b>政策</b>	宇宙開発利用に関する施策の推進			<b>主要経費</b>	その他の事項経費		
<b>施策</b>	宇宙開発利用の推進						
<b>政策体系・評価書URL</b>	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r2hyouka/r2jigo/r2jigo-8.pdf						
<b>事業の目的</b> (5行程度以内)	衛星測位システムは社会経済活動の基盤的なインフラであることから、各国が競って衛星測位システムの構築を進めている。我が国は米国のGPSに依存しているために測位可能時間や精度が限定的であるなどの問題があり、我が国独自の準天頂衛星システムの開発・整備を行うことで、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に資することを目的とする。						
<b>現状・課題</b> (5行程度以内)	準天頂衛星のみでの測位(持続測位)を可能とする7機体制構築に向け、H3ロケットの開発状況を踏まえて、令和5年度から令和6年度にかけて順次準天頂衛星を打上げるよう、追加3機の衛星開発を確実に進捗させる。測位サービスの安定供給を目的としたバックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大のため、7機体制から11機体制に向け、コスト削減等を図りつつ、検討・開発に着手する。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内)	宇宙基本計画(令和5年6月閣議決定)地理空間情報活用推進基本計画(令和4年3月閣議決定)等において、準天頂衛星システムの開発・整備を着実に推進するとされたことを踏まえ、取組を進める。具体的には、測位衛星の補完機能(測位可能時間の拡大)や、測位の精度や信頼性を向上させる補強機能等を有する準天頂衛星システムを開発・整備・運用する。その際、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、効率的かつ効果的に実行する。						
<b>事業概要URL</b>							
<b>実施方法</b>	委託・請負						
<b>補助率等</b>							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	26,735	17,069	16,752	16,747	21,727
		補正予算(B)	11,730	11,025	8,248	7,307	
		令和5年度第1次補正予算				7,307	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	20,302	20,884	16,075	17,574	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 20,884	▲ 16,075	▲ 17,574	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	37,883	32,903	23,501	41,628	21,727		
	執行額(G)	37,198	32,665	23,439			
	執行率(%) =(G)/(F)	98%	99%	100%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	97%	116%	94%			
<b>令和5・6年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算項・目</b>		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	宇宙開発戦略推進事務局			要望額 7,134		
	(目)	実用準天頂衛星システム開発等委託費	8,564	8,466			
		公共施設等維持管理運営費	7,664	12,734			
		実用準天頂衛星業務庁費	491	495			
		委員等旅費	14	17			
		職員旅費	11	14			
		その他	8,183	13,261			
	計(A)	16,747	21,727				

活動内容① (アクティビティ)		衛星測位の精度や信頼性を向上させる測位衛星の補強機能に加え、災害情報・安否情報を配信するメッセージ機能等を有する準天頂衛星システムの開発・整備を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		4機体制を確立し、平成30年度からサービス開始。(7機体制構築に向け、H3ロケットの開発状況を踏まえて、2023年度から2024年度にかけて順次準天頂衛星を打上げる)	製造、試験中の衛星数	活動実績	機	4	4	3	3	2
				当初見込み	機	4	4	3	3	2
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		宇宙基本計画工程表(令和5年度改訂)にて、7機体制構築に向け、H3ロケットの開発状況を踏まえて、2023年度から2024年度にかけて順次準天頂衛星を打上げ、着実に開発・整備を進める。とされているため。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 14 年度	
		平成29年度に準天頂衛星3機を打上げ、4機体制を確立し、平成30年度からサービス開始。(7機体制構築に向け、H3ロケットの開発状況を踏まえて、2023年度から2024年度にかけて順次準天頂衛星を打上げる)	打上げ後、サービス開始、運用可能な衛星数	成果実績	機	4	4	4		
				目標値	機	4	4	4	7	
				達成度	%	100	100	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		宇宙基本計画(令和5年6月13日 閣議決定) 宇宙基本計画工程表(令和5年度改訂)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		-	-	成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								



令和3年度	2021	府	20	0138																
令和4年度	2022	府	21	0142																

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)



<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と使途の双方で実情が 分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	公共施設等維持管理運営費	地上システムの整備、維持管理、運用等	7,664	役務費	高精度測位システムの設計・製造・試験	6,853
	計		7,664	計		6,853
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務費	衛星システムの設計・製造・試験	5,288	役務費	準天頂衛星に係るロケット打ち上げ輸送サービス	915
	計		5,288	計		915
	E.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	プロジェクト管理、設計、製造、試験等	482	人件費	プロジェクト管理、設計、製造、試験等	228
	一般管理費	一般管理費等	289	事業費等	事務費、交通費等	88
	事業費等	事務費、交通費等	36	一般管理費	一般管理費等	84
	計		807	計		400
	G.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	プロジェクト管理、設計、製造、試験等	178	役務費	準天頂衛星システムのセキュリティ機能強化	282
	事業費等	事務費、交通費等	18			
	一般管理費	一般管理費等	133			
	計		329	計		282
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						
					チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	準天頂衛星システムサービス株式会社	4012401023921	地上システムの整備、維持管理、運用等総合システムの設計	7,664	国庫債務負担行為等	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	9012405001241	高精度測位システムの設計・製造・試験	6,853	国庫債務負担行為等	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱電機株式会社	4010001008772	衛星システムの設計・製造・試験	5,288	国庫債務負担行為等	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱重工業株式会社	8010401050387	準天頂衛星に係るロケット打上げ輸送サービス	915	国庫債務負担行為等	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	災害機能拡張設備の整備	807	国庫債務負担行為等	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社	5020001054609	高精度測位補強情報の生成設備の整備	400	国庫債務負担行為等	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	信号認証システムの設計・製造・試験	329	国庫債務負担行為等	-	-	

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	衛星システムのセキュリティ機能強化	282	国庫債務負担行為等	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		三菱電機株式会社	4010001008772	準天頂衛星システムのセンチメートル級測位補強サービスの高度化	910	随意契約(その他)	-	-	